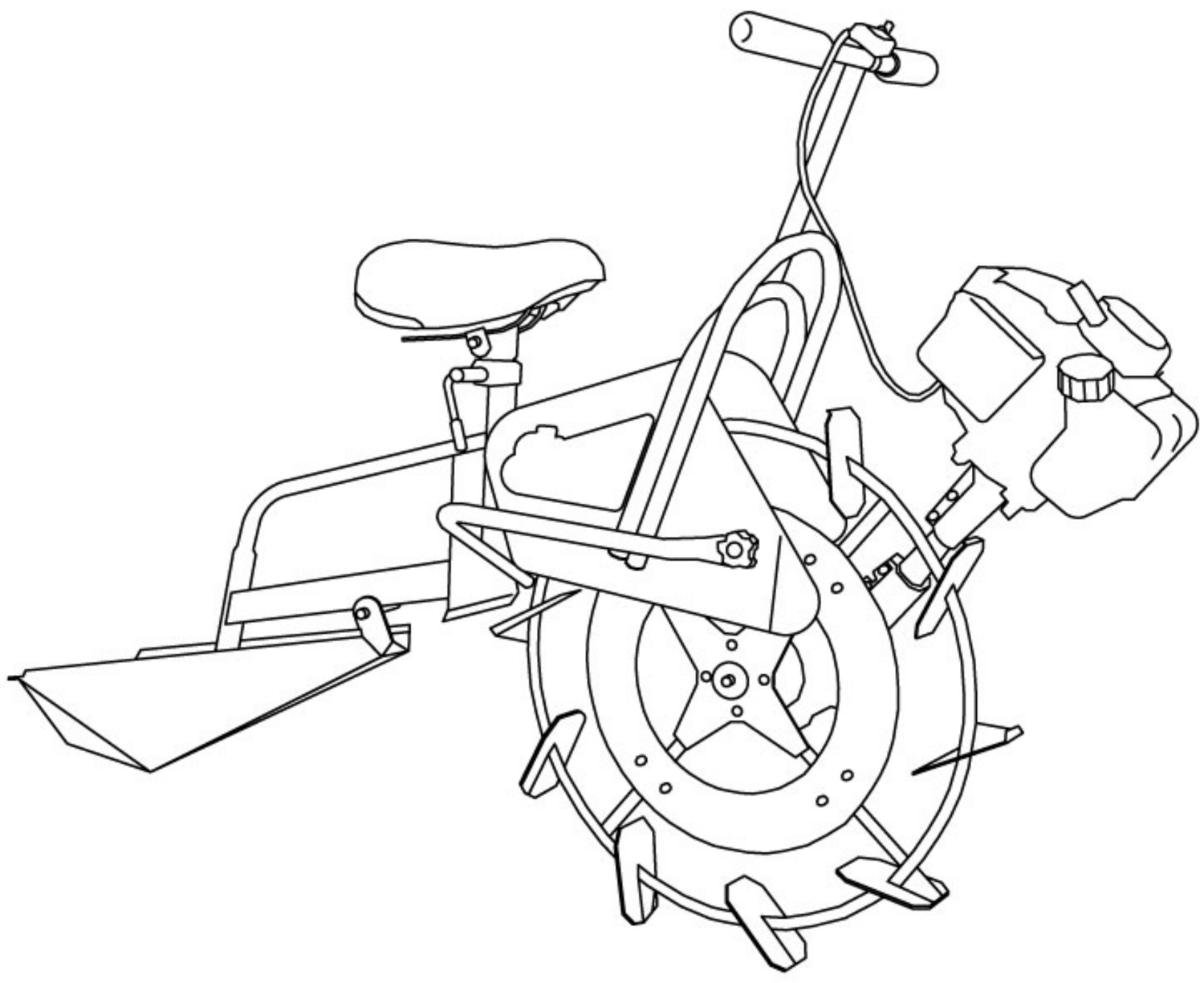
ZENOAH®

ゼノア乗用溝切機 取扱説明書

NLZ4000EZ



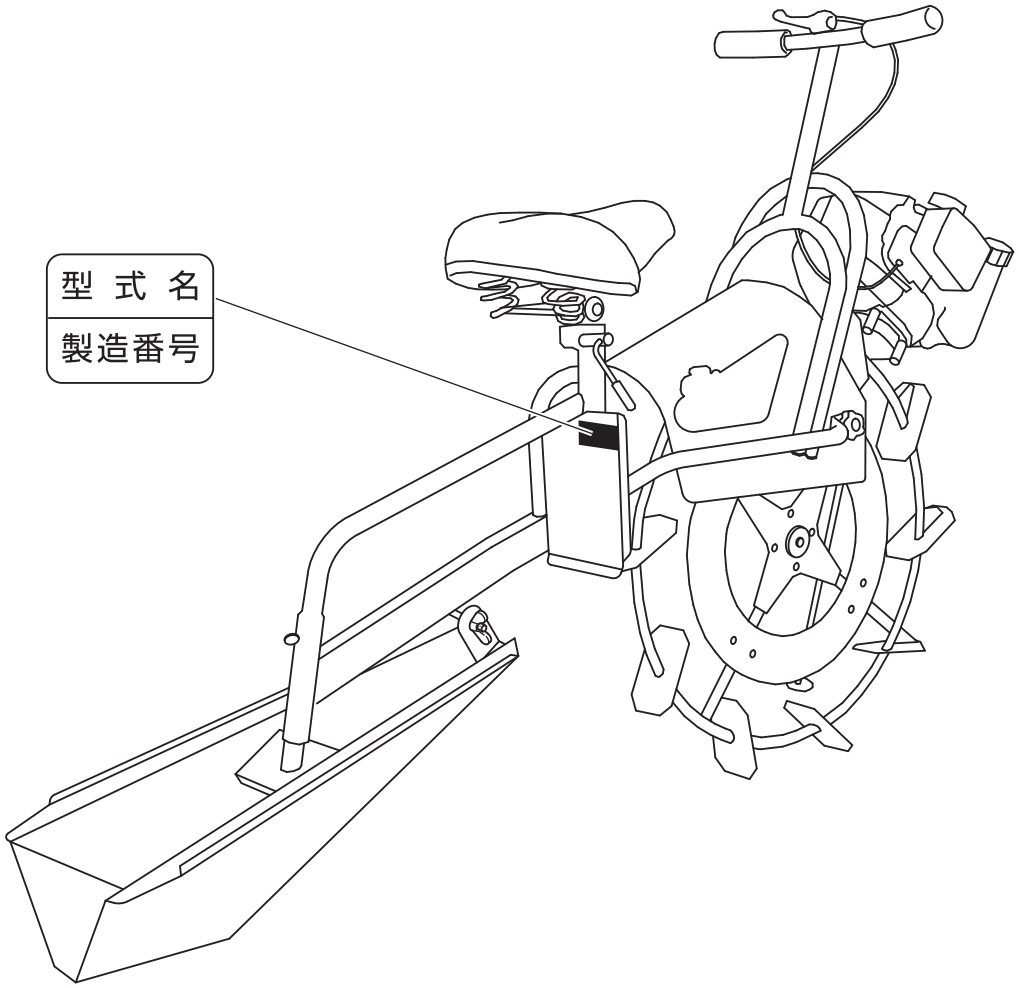
⚠ 注意	●製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 ●取扱説明書は大切に保管してください。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書には、安全に関する事項や、本機の正しい取扱い方法、保守・点検等について説明していますので、ご使用前にご熟読の上、本機の持つ性能を十分発揮してご使用ください。

サービスについてのご用命は、お買上げいただいた「販売店」にご相談ください。
その際、型式及び製造番号をお知らせください。
また、この説明書は１シーズンに１度は必ず読み、機械について理解を深めて頂くために大切に保管してください。



【注　意】

●この機械の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

●本製品は水田溝切り作業を目的とした製品です。この目的範囲外の使用が原因で生じた損害や事故に関して弊社では、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●この取扱い説明書に従わなかったために、あるいは、誤使用や無断改造がなされたために発生した損害や事故については、弊社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●圃場の条件、作業者の体重などによっては乗用作業できないことがあります。
その時は、無理な乗用作業は行わず、歩行作業と併用してください。

目　　次

1. ⚠ 安全作業をするために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3

2. ⚠ ラベルについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4

3. 各部の名称と組付順序 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5

4. 運搬方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6

5. 作業方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6

6. 直進性の調節・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8

7. シートの高さ調節・スタンドの取扱い・・・・・・・・・・・ P8

8. 取扱い上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9

9. 長期保管するときの注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9

10. 主要諸元・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10

11. 溝切り作業の効果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P10

⚠ 安全作業をするために

1. 次のような人は運転をしないで下さい。
   ■ 過労、病気、その他の理由により、正常な運転ができない人
   ■ 酒気をおびた人、妊娠中の人、未熟練者、若年者
2. 服装は作業に適したものを着て下さい。特にだぶついた服装は回転部に巻き込まれる恐れがあり危険です。
3. 作業中は周りに十分注意し、関係者以外の人を近づけないようにします。
4. 夜間および風雨の時、作業は行わないで下さい。
5. 燃料の補給はエンジンを止め冷えてから行います。周りの火気に注意して行います。
6. 給油後、タンクキャップから燃料もれのない事を確認して下さい。燃料をこぼした時は拭き取って下さい。
7. 作業中速やかに作業を中止する場合のため、停止スイッチの位置を確認しておきます。
8. エンジン始動は安定した場所で、始動して下さい。不安定な場所で始動すると転倒して危険です。
9. エンジンをクラッチケースから外して始動しないで下さい。クラッチが飛び出し危険です。
10. 排気ガスは人体に有害ですから吸わないで下さい。
11. 運転中及び停止直後のエンジン、マフラー、減速機など高温部に触れないで下さい。
12. 運転中は、点火プラグ及びプラグコードに手を触れないで下さい。
13. エンジンの回転を上げるときは、ゆっくりとスロットルレバーを操作して下さい。急激に操作すると急発進して危険です。
14. 作業中以外はスロットルレバーを最低速に下げ、エンジンをアイドリング状態にするか、またはエンジンを停止して下さい。
15. 圃場内以外（道、畦等）では本機に乗らないで下さい。
16. 本機に乗ったまま、圃場から畦に乗り上げないで下さい。
17. 稲がエンジン内部へ入り込んだ時はすみやかにエンジンを停止し、エンジンが冷えた後に稲を取り除いて下さい。
18. 次の場合必ずエンジンを停止して下さい。
   ■ 車輪に巻き付いた、草やひも等を取り除くとき
   ■ 燃料補給のとき
   ■ 各部点検、整備、清掃のとき
   ■ 移動時、運搬時
19. 次回の作業のため、機械の点検、整備は必ず行います。
20. 機械に異常（異常音、異常振動、不具合）を感じたときは、直ちに作業を中止してお買い上げいただいた「販売店」にご相談下さい。

機械を他人に貸す時は・・・

他人に本機を貸すときは、「取扱説明書」をよく読んでもらい、取扱方法や本書に書かれている安全作業のポイントをよく理解してから作業をするように指導してください。

機械と共にこの「取扱説明書」を貸してあげてください。

⚠ ラベルについて

安全な取扱いについて説明している「警告ラベル」を機械に貼付しています。

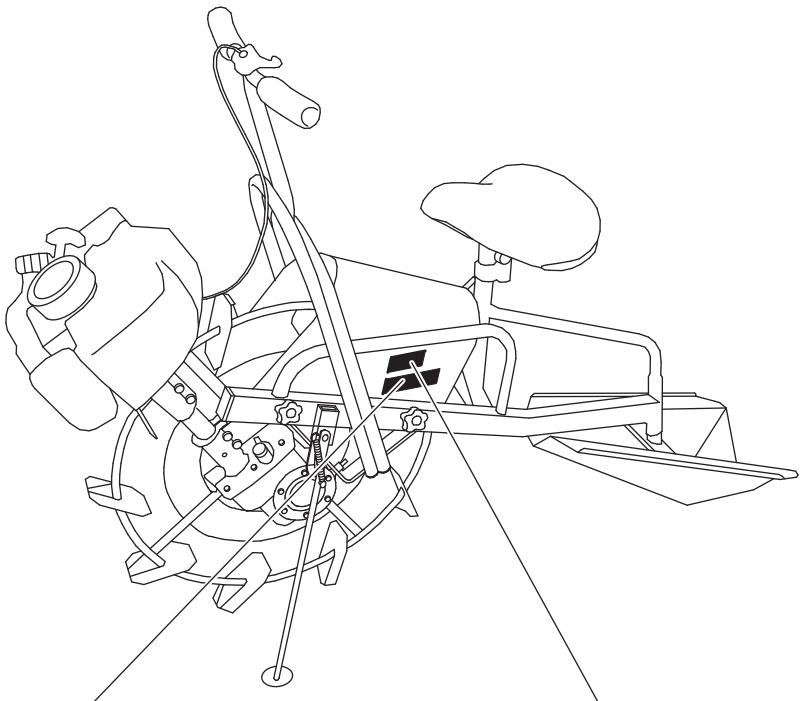
- ラベルをすべて読んでから使用して下さい。
- 機械に貼ってあるラベルが破損したり、なくなったり、塗料がついたり、または読めなくなったら新しいラベルに貼り替えて下さい。
- ラベルがついている部品を交換するときは、新しいラベルも一緒に付けて下さい。
- ラベルは機械のお買上先に注文して下さい。

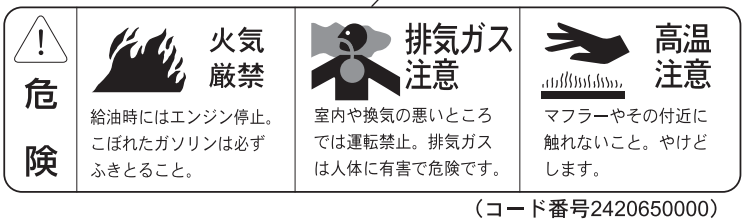
警告表示ラベルの意味

【危険】：この表示はその警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性が高いと考えられる項目に使用します。

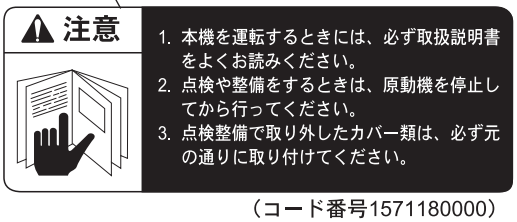
【警告】：この表示はその警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性が考えられる項目に使用します。

【注意】：この表示はその警告に従わなかった場合、けがや火傷をする可能性が考えられる項目に使用します。





（コード番号2420650000）



（コード番号1571180000）

各部の名称と組付順序

組付順序

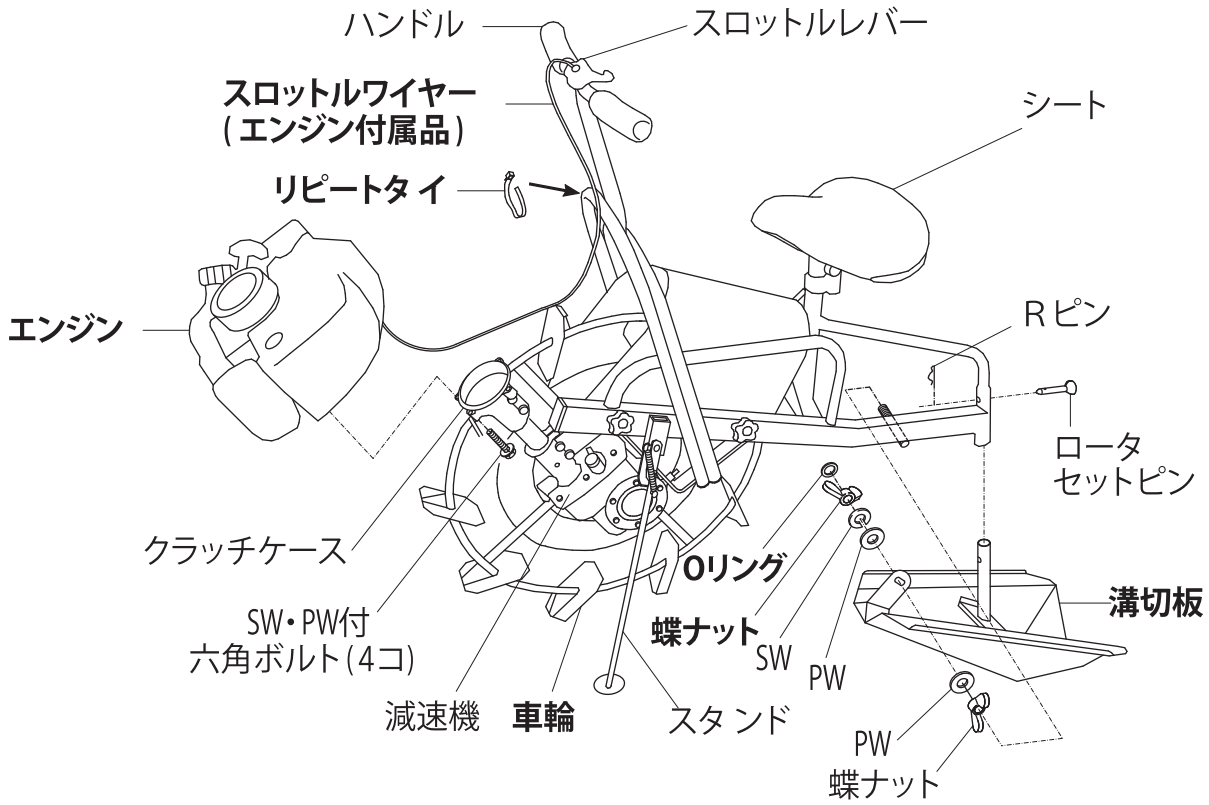
① 車輪 を取付けます。

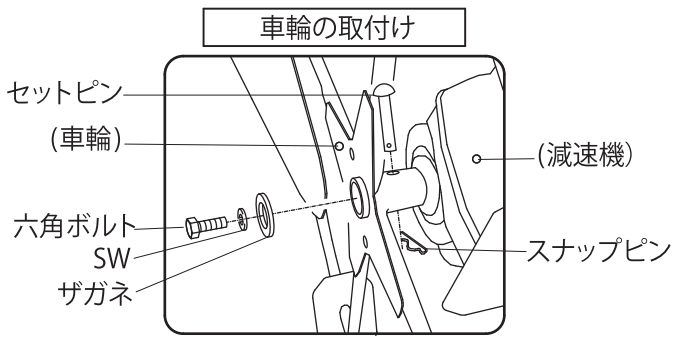
② 溝切板 を取付けます。車輪 と一直線上になる位置で、蝶ナット を締め付けて下さい。
蝶ナット 脱落防止用 Oリング を取付けて下さい。

③ エンジン を取付けます。

④ スロットルレバー を ハンドル に取付けます。

⑤ スロットルワイヤー を取付け、リピートタイ で本体に固定します。





梱包内容

名　　称	個 数
本体	1
車輪	1
セットピン	1
スナップピン	1
六角ボルト（M8×25(SW1個)）	1
サガネ	1
エンジン	1
SW・PW付六角ボルト(M6×35)	4

名　　称	個 数
ギヤオイル（交換用予備オイル）	1
溝切板	1
蝶ナットM10（SW1個・PW2個）	2
Oリング	1
ロータセットピン	1
Rピン	1
リピートタイ	1

運 搬 方 法

1. 本機を作業場所まで運ぶ時は
   - ● エンジンを停止して運搬して下さい。
   - ● 本機の燃料のタンクは空にして、燃料は金属製の缶に入れて運搬して下さい。
   - ● 軽トラック等、運搬用車両の荷台へ本機を固定して運搬して下さい。
   - ● 倒した状態で運搬すると、本機が破損する事があります。
2. スタンドを上げて、右手でフレーム部のパイプを、左手でハンドルを持って運搬します。
3. スタンドは、安定のよい場所に確実に下ろして下さい。

作 業 方 法

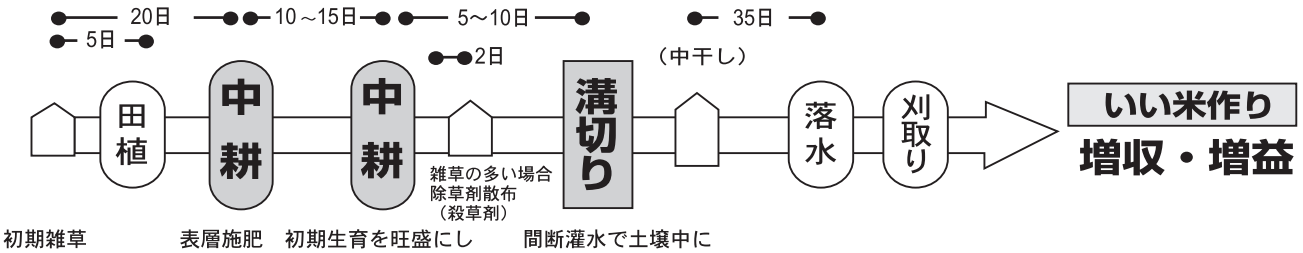
●作業準備

水田一面に水を張って下さい。
（水深 5cm 程度）

取扱いのポイント

- ●過負荷防止の為、必ず水田に水を張った状態で作業して下さい。
- ●別紙《快適に溝切り作業をするために》参照

●中耕・溝切り作業体系



安全のポイント

【注意】作業中速やかに作業を中止する場合のため、停止スイッチの位置を確認して下さい。
【注意】始動する時は、機械を支え、正しい姿勢で行ってください。車輪が動き出す可能性がありますので注意して下さい。
【注意】スロットルレバーが「低」の時車輪が停止することを確かめて下さい。停止しない時は「エンジンの取扱説明書」により調整して下さい。
【注意】作業途中で点検する時はエンジンを停止してください。また高温部には触れないで下さい。

1. エンジンを始動します。

※詳細はエンジンの取扱説明書を参考にしてください。

① 燃料タンクに混合油を入れて下さい。
② プライマリーポンプを数回押します。
③ チョークレバーを閉じる（エンジンが冷えている場合）
始動後チョークレバーを開けます。
④ リコイルスタータを引きます。
⑤ 始動後1～2分アイドリング回転で暖機運転をします。

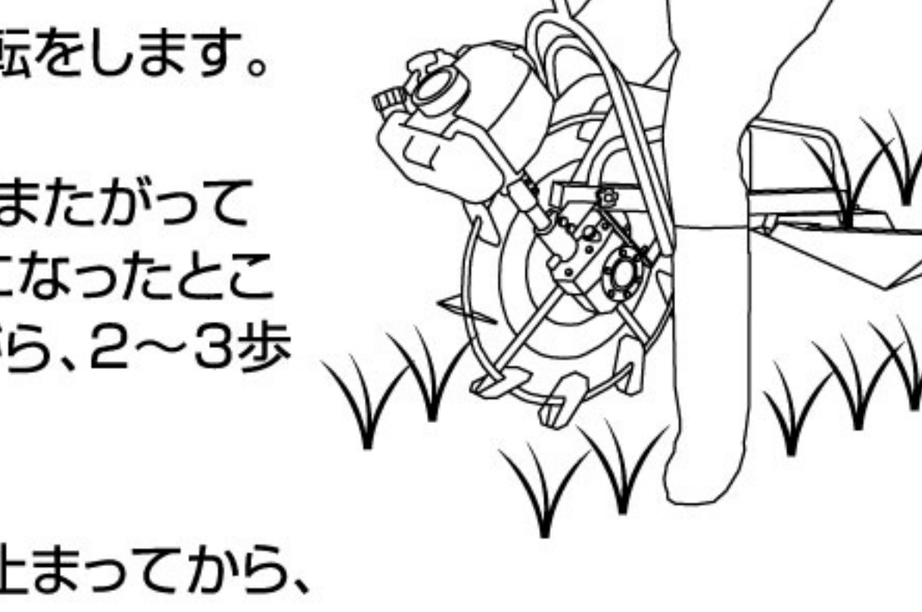
2. 暖機運転後、苗の条間に機械を置きシートにまたがって両足を隣の条間に着地して正しい乗車状態になったところでスロットルレバーを徐々に高速にしながら、2～3歩助走して発進します。

3. 方向転換は、スロットルレバーを戻し車輪が止まってから、機械を持ち上げて行ないます

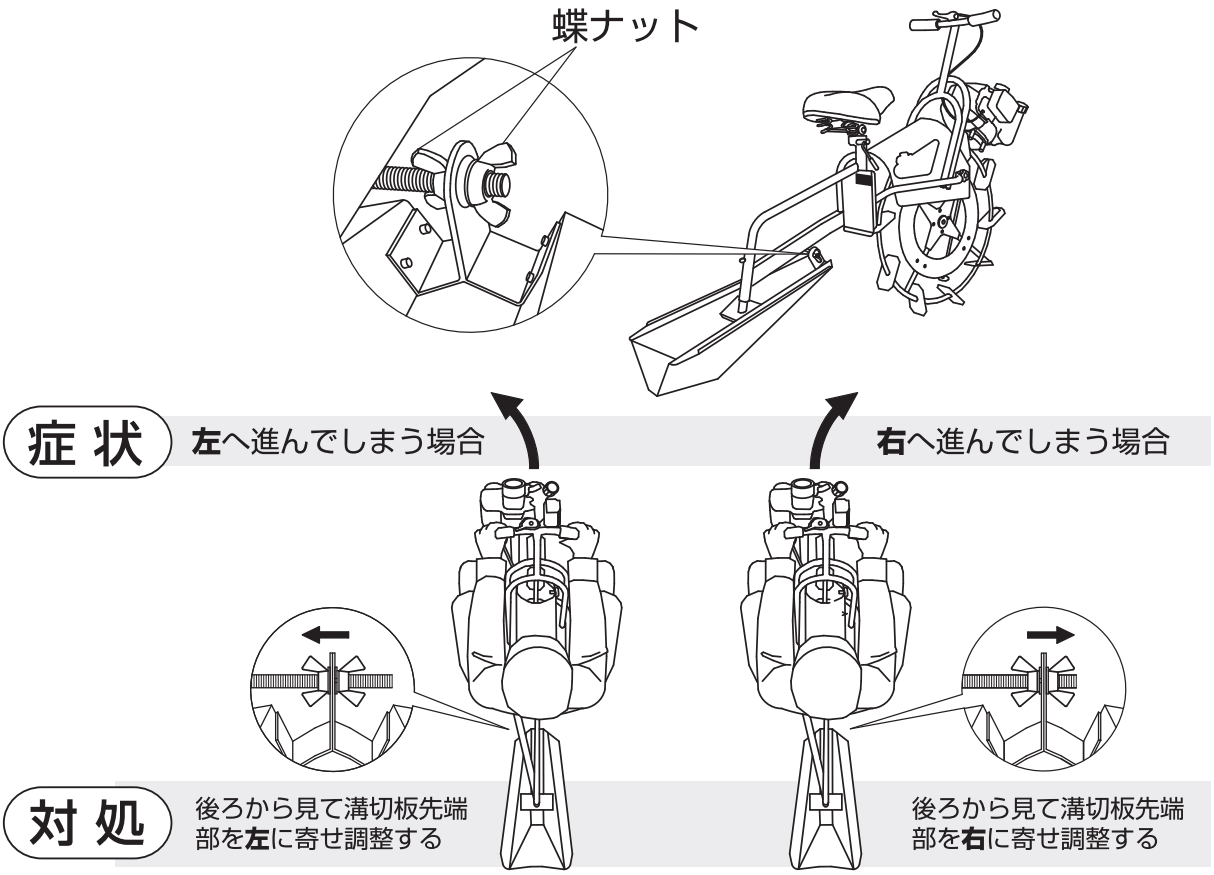
※ハンドルで舵は取れません

4. 通常の溝切り作業は乗車状態で行いますが、圃場状態により車輪が埋まり牽引力が出ないときは機械から降りて歩行にて作業して下さい。

5. 作溝間隔は一般的に2～5m毎に行います。圃場条件、目的によっては適宜作溝間隔を決め作業をして下さい。尚、各溝の交点は必ず連結してください。



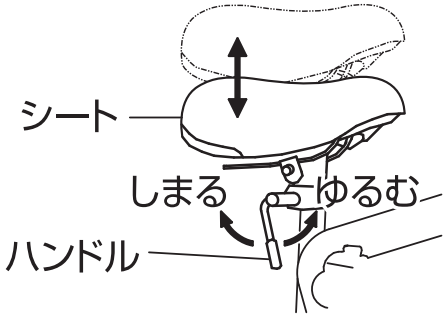
直進性の調節



安全のポイント

【注意】調節後は確実に調節ねじを固定して下さい。

シートの高さ調節



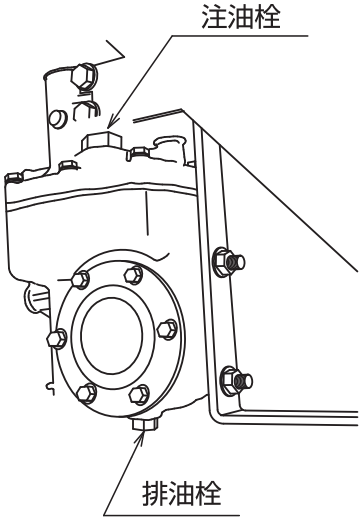
●無断階調節が可能です。
●ハンドルをゆるめて任意の高さに調節した後、ハンドルを確実にしめて下さい。

安全のポイント

【注意】シートのパイプに印されたラインより上に上げないで下さい。

取扱い上の注意

1. 始動前に各部を点検して、ネジの弛みや欠品が無いかを確かめてください。
2. 燃料は自動車用ガソリンと、２サイクル専用オイルの混合燃料を使用します。
   ガソリンのみで運転すると、焼付きの原因になりますので注意してください。
3. エンジンについては、エンジンの取扱い説明書を参照してください。
4. ギヤオイル
   - ●減速機には、出荷時、スーパーギヤオイル460（出光）が250cc入れてあります。
   - ●排油作業は、運転後の減速機の暖かいうちに行うと楽にできます。運転直後はやけどの恐れがありますので注意してください。
   - ●排油栓が真下になるように本機を傾けて、注油栓と排油栓を外し、ギヤオイルが出なくなるまで確実に排油してください。
   - ●最初の溝切りシーズンが終了時もしくは、10時間作業したらオイルを交換します。
   - ●交換の際は、スーパーギヤオイル460（出光）を必ず交換用オイルのボトル全量（約230cc）入れてください。



排油時は垂直に傾ける！

取扱いのポイント

- ● オイルを長時間交換しなかったり、オイルの量が少ないと減速機が破損しますので注意してください。
- ● 乾いた田んぼや抵抗の大きい田んぼでの作業はギヤケースが異常加熱しギヤオイルの吹き出し、ギヤの早期摩耗の原因になりますので注意してください。

長期保管するときの注意

1. 各部の弛み、破損、オイル漏れの有無を調べて、来期に備えます。
2. 機械の各部及びエンジンの汚れを清掃し、エンジンの燃料を完全に使い切った後、保管します。錆びの発生の恐れがある部分は、油の染みた布でよく清掃します。
3. 燃料タンク及び気化器内の燃料を抜き取り、点火プラグ孔より潤滑油を少量注入しクランク軸を数回手回しして、点火プラグを取付け、圧縮のあるところまで回して止めておきます。
4. 湿気や、ほこりの付着しない所に保管してください。

主要諸元

●諸　元（エンジンを含む）			●エンジン諸元	
本機型式		NLZ4000EZ	型　式	ゼノアGZ40N
全長×全巾×全高(mm)		1,385×370×920	形　式	空冷２サイクル
重　量（kg）		19	排気量(cc)	40.1 cc
車輪径(mm)		600	出　力	2.0ps／8,500 rpm
車輪回転数（rpm）		30	燃　料	エンジンの説明書を参照
溝の大きさ（mm）	幅	210	始　動	リコイル式
	深	110	点火方式	無接点式マグネット点火
作業速度（m／s）		0.8	気化器	ダイヤフラム式
能　率（a／h）		60	タンク容量(ℓ)	0.7

※作業速度、能率は標準的な目安の値です。圃場状態、作業本数によって変動します。
※燃料の混合比は、オイルのグレードによって変わりますので、エンジンの取扱説明書を参照してください。

溝切り作業の効果

「中耕」がすんだら「溝切り」を！！

1. 稲の生育にあわせた灌排水管理ができる。
2. 中干しの効果を高める。
   不必要な分けつを抑え、土中に酸素を補給、根を健全にして登熟を良好にする。
3. 増収と品質向上に。
   生育後半の養分吸収や環境条件がよくなる。特にコンバインのために落水を早める必要もなく落水適期まで潅水することができ、品質収量が上がる。
4. 稲・麦わらのすき込み田の有害ガスを排除し、生育安定化に役立つ。
5. 地表水の排水がよくなり、地耐力が強化され、諸作業の能率を高める。
6. 稲を収穫後も排水良好で裏作や、野菜などの作付にも有利。

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打切り後８年と致します。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期等についてご相談させていただく場合もあります。

ZENOAH®

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ･ゼノア株式会社　国内営業本部

ナビダイヤル® **0570-084987**

月～金／9:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日は除く）

http://www.zenoah.co.jp/

2626040000-YP1112

ハスクバーナ･ゼノア株式会社

本社:〒350-1165　埼玉県川越市南台1-9